

## 22春闘山場に向け「定期昇給の完全実施！」と「ベア6,000円獲得！」 各政党への要請行動でJR各社の実情を訴える！ 2022春闘勝利！2・25国労中央総決起集会が開催される！

2月25日、国労本部は各政党に対し、JR各社の実情に合わせた内容で要請を行い、午後から、リモート参加を含め「2・25 国労中央総決起集会」を開催した。

中央総決起集会は、22春闘における「定期昇給の完全実施！」と「ベースアップ6,000円の獲得！」を柱に、木村副委員長の開会挨拶に始まり、松川執行委員長の主催者挨拶、講演では神奈川総合法律事務所・山岡弁護士より「憲法審査会の動向と憲法改悪を許さない闘い」、岩元書記長から「22春闘に向けた取り組みと政党要請の報告」、リモート参加による若手組合員からの決意表明、全工リア本部代表から、それぞれ決意表明を受けた。

全国貨物協議会・因泥事務長は「経済成長の好循環を生み出すため個人消費の活性化、内需拡大が重要」と訴え「過去最高を更新する内部留保を最大限活用すること」「貨物会社の経営状況はコロナ禍により大幅減収だが、昨年度で11期連続の経常黒字を確保し、中期経営計画は連結経常利益140億円以上、設備投資も10年間で4,000億円を超える計画からも、今こそ社員の労苦に報い、構造矛盾の解決、労働条件改善、組織拡大に向け全力で闘う」との決意表明を行った。

22春闘で大幅賃上げを実現するために、全職場から「定期昇給の完全実施」と「ベア6,000円獲得！」に向け、取り組みを強めよう！



## 各政党へ6項目を要請！貨物経営陣は社員犠牲に頼ることなく、国に対する働き掛けも強めるべき！

2月25日、「オミクロン株」の感染拡大により「国会議員要請行動」は中止となったが、JR発足から35年が経過する中、各政党に対し、国労本部代表による要請行動を行った。

要請概要は関係するJR各社と関連会社に対して①雇用調整助成金の特例措置の拡充や地域公共交通の維持。②持続可能な支援策、線路使用料見直し・ダイヤ調整の円滑化。③大規模災害時の復旧補助の拡充。④介護要員等の確保など鉄道事業者への指導。⑤国・自治体・警察との連携による鉄道防犯対策。⑥鉄道路線の廃止手続き時の自治体・住民の理解について。など6項目にわたる内容で要請を行っている。

